

(様式 1)

令和 4 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立東吾嬬小学校
校長名	齊藤 伸治

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">各教科の観点別指標 51 項目のうち、46 項目で目標値を上回った。課題となっていた 4～6 年の理科では、全 9 項目とも、目標値を上回ることができた。特に 6 年は、昨年度 46.4%いた DE 層が、今年度は 18.6%、-27.8 ポイントの結果が残せた。5 年生も DE 層が -4.9 ポイントである。実験・観察や問題解決的な学習での対話的で深い学びの成果と考えられる。2・3 年生はどの項目も目標値を大きく上回ることができた。(国語の上回り平均+12 ポイント、算数の上回り平均+12.4 ポイント)	<ul style="list-style-type: none">目標値に届かなかったのは、6 年国語「思考・判断・表現」、4 年社会「知識・技能」「思考・判断・表現」、5 年算数「思考・判断・表現」であった。4 年算数は目標値を超えているものの、経年比較では年々標準スコアが低くなってきており、昨年度よりも DE 層が 10.3 ポイント増えている。社会・理科については、問題文を最後まで読むことが難しい児童がいた。普段からいろいろな文章を「読む」学習活動を取り入れ、読解力を付けていくことが必要である。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">「家で 1 週間に勉強している日数」では、毎日と 4～5 日とする児童の割合は 3・5・6 年で 60%を超えている。特に 6 年は毎日勉強している児童が 62%おり、地道に努力している児童が増えた。「学校の授業予習・復習をしている」の肯定率は 5 年が 65.5%、(同一集団の) 昨年度は 48.1%、授業内容を理解しようとする意識が高い。	<ul style="list-style-type: none">家庭学習習慣の定着、その内容として予習・復習を取り入れて行くことが課題である。4 年は「家で 1 週間に勉強している日数」毎日又は 4～5 日とする児童は 46%、ほとんどしないは 18.4%、1 日の勉強時間も 30 分以下が 63%おり、家庭学習時間が少ない。予習・復習をしている肯定率は 49%で全国平均より 8 ポイント低い。家庭学習の充実を図り、基礎・基本の定着につなげていくことが課題である。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">全学級で授業規律が保たれ、児童が意欲的に学習している。読書については、図書室の貸し出し冊数が昨年度より多くなっており、読書に親しむ児童が増えつつある。	<ul style="list-style-type: none">本を読む習慣はつきつつあるものの、選書に偏りが見られる。図鑑や漫画のように見て分かるように示された本を好む傾向があり、文章を読むということが苦手である。読解力そして想像力を伸ばすためにも物語文等も読む

<p>・「ミライシード」「振り返りシート」については朝学習や夏休みに取り組んだ。学校では空いている時間に児童が自主的に取り組むなど、活用している様子が見られる。</p>	<p>ようにすることが課題である。また、高学年では「よむYOMUワークシート」を活用していく。</p> <p>・全国学習状況調査の結果では知識・技能は都・全国平均を上回っているが、思考・判断・表現については国語・算数とも全国平均に届いていない。</p>
--	--

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 教員の指導力・授業力を高めるための組織的な取組

- ・校内研究において、「自然に親しみ、主体的に問題を解決する児童の育成」を研究テーマとし、生活科・理科の指導を通して、見通しをもち、主体的に問題を解決する力の育成を目指す。年3回の研究授業、実践報告会では講師からの指導・助言を受け、児童の興味・関心を高め、指導内容や方法を工夫・改善した授業を実践する。
- ・毎月の自主研修会、学年会等校内のOJT体制を確立し、教員それぞれの専門性を生かした指導・助言等を活性化させ、指導技術を高められるようにする。

(2) 確かな学力を育てるための取組

- ・学力向上委員会で「振り返りシート」「問題データベース」「ベーシックドリル」「ミライシード」等を活用し、基礎・基本の定着を図る。家庭でもタブレット端末を活用してドリル学習に取り組みませ、児童の一人一人の学習の改善を進める。
- ・週5日の放課後学習教室で、教員と補習教室指導員とで指導し、参加児童の学習意欲の向上と学習習慣の定着を図り、学力の向上につなげる。指導教科は国語・社会・算数・理科とする。
- ・学校図書館司書を積極的に活用し、団体貸し出しや本の紹介など読書活動の充実を図る。

(3) 保護者・地域と連携した取組

- ・毎月、学力向上に関する通信を発行し、本校の児童の課題とその改善策について、学校の授業で取り組むこと、家庭学習等の家庭・地域で取り組んでいただきたいことを伝え、学校と保護者・地域とが連携して児童の学力向上を図る。
- ・「生活リズムチェック」等の望ましい生活習慣を継続する取組を家庭と連携することにより、児童の生活の安定と学習環境の維持・向上を図る。

3 「令和5年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・本校平均正答率を、全国平均より+5ポイント以上（国語、算数、理科、英語）同等以上（社会）。
- ・意識調査で、学習習慣・学習意欲に関する肯定率を全項目平均で60%以上